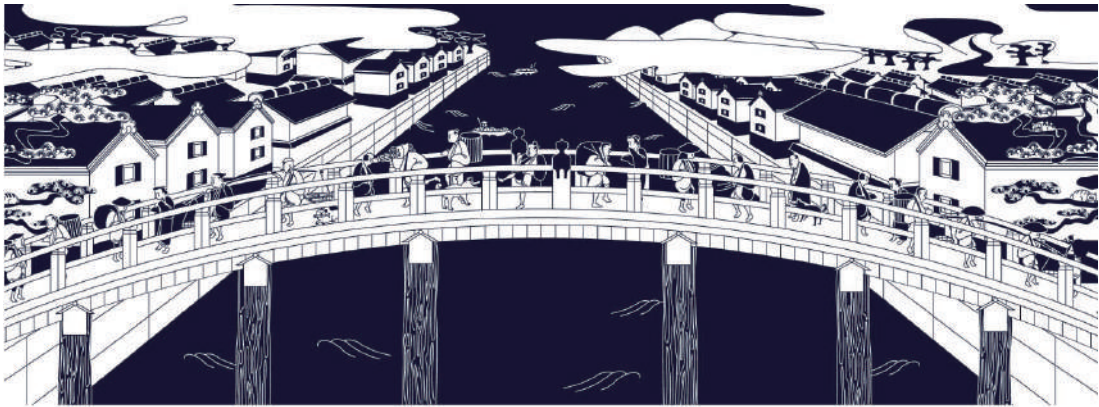




日本橋で日本全国を“旅”できる！新しいご当地土産ショップ 「日本市 日本橋高島屋S.C.店」 2018年9月25日(火)オープンのご案内



お江戸の名所に日本の土産もの大集結

1716年創業の奈良の老舗、株式会社中川政七商店（所在地：奈良県奈良市 代表取締役社長 十四代 千石 あや）は、「日本の土産もの」をコンセプトに展開する自社ブランド「日本市(にっぽんいち)」の新店舗を、2018年9月25日(火)に開業する「日本橋高島屋S.C.」にオープンいたします。同店のオープン時点で、当社の直営店は54店舗、うち「日本市」ブランドは6店舗となります。

「日本市」とは“日本の土産もの”をコンセプトに全国津々浦々、土地土地で産まれた工芸やモチーフにこだわったモノ作りで、お土産業界の地産地消モデルの確立を目指すブランドです。

この度、新たにオープンする「日本市 日本橋高島屋S.C. 店」は、**まるで日本を旅するように、全国のご当地土産に出会える**、日本橋発の全く新しいショップです。中川政七商店が創業した江戸時代には、江戸と日本各地を結ぶ「五街道」と呼ばれる道路が生まれ、日本橋はそのすべての出発地でした。同店では、かつてのように日本橋を起点に、旅の道中で出会う土産、名付けて“街道みやげ”をテーマに全国のご当地土産を揃えます。

2018年9月25日(火) OPEN

【日本市 日本橋高島屋S.C. 店】

住 所：東京都中央区日本橋 2-5-1
日本橋高島屋S.C. 新館1階

電話番号：03-5542-1131

営業時間：10:30-20:00

定休日：館に準ずる

面積：23坪

店舗デザイン：ima [小林恭・小林マナ]

ロゴデザイン：good design company

グラフィックデザイン：10inc. [柿木原政広・西川友美]

店内BGM：太鼓集団響



店内に1,200点を越えるアイテムが常に揃う「日本市 日本橋高島屋S.C. 店」では、大きく3つの切り口で“街道みやげ”に出会うことができます。

▼日本橋限定のオリジナル商品

江戸切子や江戸組紐などの伝統的な技法を活かし、老舗企業の職人とともに作ったオリジナル商品を展開。200年以上前の江戸時代より続く旅の知恵や人々の生活が、現代の土産ものとして生まれ変わりました。

(アイテムの詳細はページ下段以降をご参照ください)



▼全国の街道からのセレクト商品

お土産には、その土地の魅力が凝縮されています。瀬戸内で育った柑橘ゼリーや栃木県産いちごジュースなどの定番ものや、五島列島や奥出雲などでの新しい発見も。北は北海道から南は沖縄まで日本全国津々浦々、日本橋にいながらお土産を通じた旅をお届けします。



▼2週間ごとに各街道を特集するPRスペース

日本全国の商人が文化を発信するため行商に訪れる「宿場町」のように、店内に5坪ほどのPRスペースを設け、定期的に全国各地の“産地の一品”が集まるイベントを行います。

【初回】「東海市」期間：9月25日～10月9日

※2019年1月以降は、全国の自治体や企業からの出店を募集します。



日本橋限定商品一覧

日本橋限定グラフィックアイテム

江戸時代の日本橋の、活気ある様子を描いた日本橋モチーフ。デザイン事務所10inc. [柿木原政広・西川友美]による本モチーフは軒先ののれんやテキスタイル商品、パッケージに多数登場し、訪れる人に江戸時代の日本橋の風景を連想させてくれます。

人気の花ふきんは紺色のステッチを効かせ“江戸の粋”を表現。手ぬぐいは東京・八王子の染め屋で一つ一つの絵柄を手捺染しています。また江戸時代の茶店でてくるような、3色だんごを模したもなかは土産におすすめの一品です。

▼アイテムラインナップ

(写真より) 手捺染手ぬぐい、花ふきん、千代布、茶店のだんごもなか、スチームクリーム





利島のつばき油

価格：1,600円

江戸時代から200年にわたって作り続けられている東京・利島のつばき油。愛らしい子瓶入りで、携帯用にも便利。



白木屋伝兵衛の御守箒（ほうき）

価格：2,800円

江戸等の老舗「白木屋伝兵衛」と作った御守箒。厄を払い福を集めるといういわれのある箒は、実用性も抜群です。



江戸組紐の旅守り

価格：900円

東京・浅草に店を構える「組紐桐生堂」の江戸組紐を用いて作りました。旅のよいご縁と安全を祈願する旅守りです。



静岡茶

価格：各1,000円～

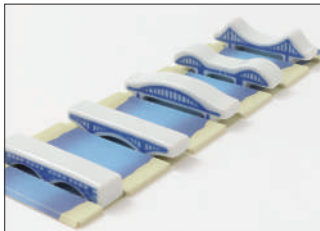
静岡県・牧之原台地の茶農園「カネ十農園」が手掛ける、こだわりの煎茶。芳醇な味わいと香りをお楽しみいただけます。



榮太樓總本舗の梅ぼ志飴巾着

価格：900円

日本で創業して200年の老舗・榮太樓總本舗の「梅ぼ志飴」を、麻の老舗である中川政七商店の巾着に詰めました。



東京はしおき

価格：4,000円

東京を代表する5つの橋をモチーフにした箸置きは、Tokyo Midtown Awardの受賞作品を商品化しました。



日本箸

価格：各2,400円

江戸の文化背景にちなんだ江戸唐木箸を、東京・日本橋に店を構える「川上商店」と作りました。



江戸切子の丸板皿

価格：3,800円

大正時代より江戸切子を作り続けている東京の「樋口硝子」とともに、日本の伝統文様を合わせた小さな丸い板皿をつくりました。



膝栗毛の足袋くつした

価格：各2,900円

江戸時代の旅人が足の疲れを防ぐためにつけた脚絆をヒントに、足袋型の靴下を作りました。たくさん歩く旅行におすすめ。



MERI 布草履

価格：各7,500円～

布製ルームシューズ「MERI」の日本市日本橋限定カラー。職人が編み上げた草履はやわらかく、新感覚の履き心地。



まめ巾着 八王子ジャカード

価格：各1,500円

ジャカード織りで有名な、東京・八王子の「大原織物」と作りました。アクセサリや薬、飴などを入れるポーチとして。

<お問い合わせ先>

株式会社 中川政七商店

広報 佐藤菜摘 080-3464-4622 kouhou@yu-nakagawa.co.jp

〒630-8144 奈良県 奈良市 東九条町 1112-1 URL <http://www.yu-nakagawa.co.jp>